



めざせ！ワンハート

令和6年度第2回 第2層協議体小規模情報交換会実施

令和7年2月10日・12日に第2層協議体小規模情報交換会を開催しました。各地区よりご参加いただきましたみなさんありがとうございました。今回の第2層協議体小規模情報交換会では、前回のアンケートの声を踏まえ、協議体メンバー同士が情報交換できるよう2グループに分け、テーマを決めて意見交換できる時間としました。また、今までの小規模情報交換会では近隣の協議体同士の情報交換でしたが、今回は会場を市役所にして、**第2層協議体をもう一歩前へ進めていくため**、市内全域から6～7地区の協議体メンバーが集まり開催をしました。

また、「交流」から「支え合い」に活動を展開していくため、事前情報シートをもとに**テーマを「人との交流」・「支え合い」の2つに絞り、第2層協議体として取り組んでいること、今後の活動について意見交換をしました。**

ぜひ、第2層協議体小規模情報交換会で得た情報を各地域に持ち帰り、各第2層協議体で情報共有をして次の一歩につなげるようにしていきましょう。

7月の
第2層協議体
小規模情報交換会
ふりかえり
アンケートの声

住民メンバー間での情報交換
の時間があるといい

テーマが決まっていたため
的が絞れてよかった

近隣地区だけでなく
市内の他の協議体の活
動についても知りたい！



テーマの設定

居場所等の
「人との交流」

お互い様で助け合う
「支え合い」

第2層協議体をもう一歩進めるきっかけにしよう！
「交流」から「支え合い」へ展開させよう！



第2層協議体
小規模情報交換会
開催



<各第2層協議体>
情報を共有
今後の活動に活用

第2層協議体の情報交換が
できてとても参考になった



他地域の皆さんの
意気込みに刺激を受けた

参加者が得た情報を地域の活動に
つなげていきましょう



第1回 小規模情報交換会の様子

【日 時】令和7年2月10日（月）10:00～12:00

【対 象】八幡、片岡、榛名、南八幡、岩鼻、長野、中居・矢中（矢中地区） 計7地区



【情報交換会ポイントまとめ】

【テーマ】人との交流

【いろいろな居場所のカタチ】

- ・元蕎麦屋での居場所づくり
- ・地域のカフェの活用
- ・団地の方向けに団地で居場所づくり
- 居場所づくりが見守り、社会参加になる
- ・「ベンチプロジェクト」
- 外出促進と交流の拠点づくりとして

【居場所までの移動】

- ・交流の場への移動手段に課題あり
- 解決策も考えてみよう！無理をしない
- ・既存の資源の活用
- ぐるりんタクシー活用を検討

【活動の周知】

- ・周知活動の一環として地域の祭りの活用

第2回 小規模情報交換会の様子

【日 時】令和7年2月10日（月）13:30～15:30

【対 象】群馬（さくら）、中央・南・城南、新高尾・中川、城東・東部、塚沢・浜尻、箕郷、豊岡 計7地区



【情報交換会ポイントまとめ】

【テーマ】人との交流

【居場所づくりのポイント】

- ・顔の見えるつながりが大切
- 【3層活動の周知】
- ・既存の居場所を含め社会資源を周知
- 冊子やチラシ等で周知
- 【活動基盤強化】
- ・説明会で区長や民生委員の協力を得る

【居場所のカタチ】

- ・人との交流ができる場＝居場所
- ・移動販売の活用、散歩、ウォーキング
- 【担い手不足】
- ・2・3層の担い手不足
- ・活動に取り組む住民の輪を広げることが大切
- 興味を引く取り組みが必要・楽しくやることも大切

第3回 小規模情報交換会の様子

【日 時】令和7年2月12日（水）10:00～12:00

【対 象】新町、群馬（なのはな）、倉渕、中居・矢中（中居地区）、吉井、寺尾・城山 計6地区



【情報交換会ポイントまとめ】

【テーマ】支え合い

【既存の団体との連携】

- ・協議体に多様な団体との情報共有が必要
- ・既存の社会資源を周知、活用

【市内の協議体との連携】

- ・他地域を見学して自地域の活動に活かす

【まずははじめてみる】

- ・協議体メンバー同士助け合う→地域へ展開

【日常生活の困りごと】

- ・移動・買い物（ニーズ多数）→アンケート実施
- ・今ある既存資源を活用する

- ・地域の団体から情報収集や担い手募集も大切

【活動創出に向けて】

- ・助け合い活動ワークブックを活用
- ・できることから始める・興味がわくチラシ作り

第4回 小規模情報交換会の様子

【日 時】令和7年2月12日（水）13:30～15:30

【対 象】滝川・京ヶ島、倉賀野、北・東・西、佐野、大類、乗附、六郷・北部 計7地区



【情報交換会ポイントまとめ】

【テーマ】支え合い

【ニーズ調査が大切】

- ・困りごとを知る
- ・アンケートで困りごと、できることを聞く
→担い手発掘
- ・実際の困りごとが出てこない
→人と人とのつながりからニーズ調査を始め
てみる

【区長・民生委員との連携】

- ・区長の協力が必要
- ・民生委員との連携
→見守りの活動から支え合いの活動へ
- 【まずはできることから】
- ・できることをできる範囲で
- ・無理せず、少しずつ活動を広げていこう！

小規模情報交換会まとめ

市内全域に支え合いを
充実させよう！

- 高齢者の日常生活での困り事を支援するためには、様々な既存の地域資源を活用し、足りない活動はみんなで力を合わせて作っていきましょう！（地域の居場所や生活支援ボランティア）
- 「居場所」や「お互い様の助け合い」を高崎市内全域で地域住民が主体となって充実させていきましょう！
- 高齢者が生き生きと活躍できる場をつくっていきましょう！



元気なうちからお互い様で助け合う関係をつくろう

2025年問題と言われていた2025年になりました。今回の小規模情報交換会では、**第2層協議体**をもう一步前へ進めていくことを目標に開催しました。今後ますます、「居場所」「お互い様の助け合い」の必要性が高まります。まずは、地域の様々な資源とつながり、人と人が交流できる場を増やし、交流からお互い様の助け合い活動へ展開させていきましょう。今回の情報交換会で出た意見をそれぞれの協議体に持ち帰り、他の協議体メンバーと情報を共有しましょう。また、各協議体でできることについてもみんなで意見を出し合いながら、それぞれの地域の状況に応じて、必要な社会資源を生み出していきましょう。

S C が他の地区の活動や協議体メンバー同士とつながります！



「他地域の活動をもっと聞いてみたい」「直接活動を見てみたい！」という方や、「住民主体の助け合い活動や見守り活動を立ち上げたい」、「実際に活動をしている人の話を聞いてみたい！」という方はぜひ、第1層生活支援コーディネーターにご連絡ください。他の地区の活動や協議体メンバーとつながります。今回の情報交換会を機に、高崎市全体で、第2層協議体活動を一緒に盛り上げていきましょう。



連絡先：☎027-321-1319（高崎市長寿社会課）
発行元：高崎市第1層生活支援コーディネーター

高崎市 HP「お互い様で支え合う地域づくり（生活支援体制整備事業）」
<https://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2019011800019/>

